

作物増殖

講師名	佐藤 研二・農研C	実務経験等	民間企業等での研究員としての経験を活かし、植物の遺伝、育種、バイオテックの基礎知識と増殖方法の基礎についての講義を担当している。
-----	-----------	-------	------------------------------------------------------------------

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 期間	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・共通	必修	2	通年	60	4
使用教科書・副教材	教科書:「植物の育種学」日向康吉著(朝倉書店)					
授業の目的	植物の遺伝、育種、バイオテック、増殖手法を学ぶ。					
授業の到達目標	作物の遺伝、従来育種、バイオテックの基礎知識と、増殖手法の基礎を習得する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
1.2	4月15日	植物の形態等	4	講義	
1.2	4月20日	遺伝学基礎(1)	4	講義	
1.2	5月27日	遺伝学基礎(2)	4	講義	
3.4	6月1日	組織培養の基礎	4	講義	
3.4	6月15日	継代培養	4	講義・ 実習	実習記録
3.4	8月24日	接木	4	講義・ 実習	実習記録
3.4	8月31日	葉片培養	4	講義・ 実習	実習記録
2	9月2日	分子生物学(1)	2	講義	
3.4	10月5日	研究現場の育種(1)	4	講義	
3.4	10月12日	研究現場の育種(2)	4	講義	(うち1コマ 農研C)
3	10月19日	研究現場の育種(3)	2	講義	(農研C)
4	10月19日	分子生物学(2)	2	講義	
3.4	11月9日	茎頂培養	4	講義・ 実習	実習記録
3	11月10日	研究現場の育種(4)	2	講義	(農研C)
3.4	12月21日	実習の評価	4	講義・ 実習	実習記録
1	1月18日	育種(1)	2	講義	
1	1月25日	育種(2)	2	講義	
2	1月25日	GM作物(1)	2	講義	
1	1月28日	GM作物(2)	2	講義	
合計			60	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験、受講態度、提出物の内容、出席状況により評価する。
評価割合: 筆記試験70%、平常点30%(受講態度10%、提出物10%、出席状況10%)

履修に当たっての留意点等

授業は項目が入れ替わることがあるので注意すること。
授業形態は主としてパワーポイント、及び板書で行う。
実習は実験棟等で行うので、白衣と筆記用具を忘れず、速やかに移動すること。